

新たな 富山県食育推進計画の概要について

計画の位置付け 県民が生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるよう、「食育」を着実に推進していくための行動計画
(食育基本法、富山県食育推進会議条例に基づく計画)

これまでの経過	H17.6 食育基本法制定 H17.10 富山県食育推進会議 設置 H18～H22 富山県食育推進計画 (第1期)
---------	---

新・総合計画政策目標 (策定中)
安心7：食の安全の確保、食育の推進
・富山の食に着目した食育の推進
・県民ぐるみの地産地消
・生産から消費に至る総合的な食品安全対策
・食品ロス削減の推進

食を取り巻く状況の変化
・生活習慣病を予防・改善し、健康寿命の延伸を図る必要
死亡率全国順位 (H27)
胃がん：男3位・女2位
脳血管疾患：男12位・女17位
・G7 富山環境大臣会合 (H28) で「富山物質循環フレームワーク」採択
→食品ロス削減等の着実な実施

国の食育推進基本計画 (第3次・H28～H32)
重点課題
・食文化の継承に向けた食育の推進
・健康寿命の延伸につながる食育の推進
・若い世代を中心とした食育の推進
・多様な暮らしに対応した食育の推進
・食の循環や環境を意識した食育の推進

食育推進会議 委員の主なご意見 (H29.8.22及びH28.6.21)
・食育の取り組みをもっとPRすべき
・食育が実践につながるよう取り組みに工夫を
・生産者と一緒に育てた野菜を好んで食べるなど農林漁業体験等を伴う取り組みが大事
・働き方やライフスタイルの多様化に対応した食育を
・朝食の欠食は親子関係や家庭の貧困等に配慮
・子どもの頃から基本的な生活習慣や生活体験が得られる食育を
・一人暮らしを控えた高校生の調理体験充実、多忙な核家族への栄養バランスがよく簡単メニューの提案など、ライフステージに応じた取り組みを
・高齢者への食育の取り組みがもっと必要なのは健康寿命の延伸に向けた野菜摂取や減塩活動を
・食品ロス削減も県民運動として推進を
・子どもがお年寄りから食べ物に大切にすることなどを学ぶ機会は重要

食に関する指導者の主なご意見 (H28.2～3実施アンケート結果)
・食育推進の課題
① 健康を意識した食生活
② 食文化継承
・今後推進すべき事項
① 栄養バランス改善
② 富山型食生活の普及啓発
・重点的に取り組む対象
① 幼児～高校生の保護者
② 20～30代、小学生

現行 第2期計画 (H24～H28) の成果と課題

I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進
1 富山型食生活の普及など県民運動の展開
2 地産地消の推進
3 魅力ある食文化の継承・創造

- 食育に関心のある県民の割合は9割を超えるものの微減
- カロリーやバランスを考えた食事を実践する県民の割合は大幅に増加、目標達成まではあと一歩
- 直売所・インショップの販売額は着実に増加

おもな目標指標	②策定時	現状値	③目標値	評価
「食育」に関心がある県民	94%	②91.2%	95%以上	△
カロリーやバランスを考えた食事をする県民	31.2%	②54.6%	60%以上	◎
直売所・インショップ販売額	20.8 億円	②36.1 億円	25 億円	☆

II 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現
1 家族そろった健全な食生活の実現
食べ残しなど「ムダ」のない食生活の推進
2 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進

- 朝食を欠食する県民の割合は、30歳代では改善したが、20歳代は後退、小5・中2では改善していないものの低い割合を維持
- 家族で食事する県民の割合は、ほぼ横ばいで推移

おもな目標指標	②策定時	現状値	③目標値	評価	
朝食を欠食する割合	小5	0.8%	②0.8%	0%	△
	中2	1.9%	②2.0%	0%	△
	20歳代	5.4%	②11.4%	5%以下	△
	30歳代	5.2%	②3.8%	5%以下	☆
	家族で朝食または夕食を取る県民	89.8%	②91.8%	95%以上	○

III 家庭を中心とした食育を地域社会でもしっかりと支援
1 地域で支えあう食育の推進
若い世代から高齢者までライフステージに応じた食育の推進
2 食の安全確保

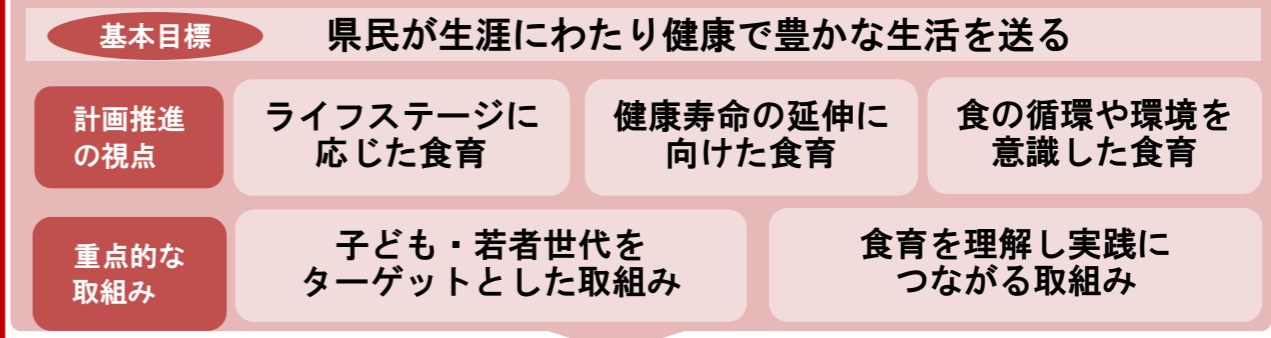
- 食塩の摂取量は減少したが、目標には達せず
- 肥満の男性の割合は減少し、低体重の若い女性の割合は増加
いずれも目標に達せず
- 食品表示が適正な店舗は増加し、目標達成まであと一歩

おもな目標指標	②策定時	現状値	③目標値	評価	
食塩の1日当たり摂取量(成人)	男性	12.2g	②11.0g	9.0g未滿	○
	女性	10.5g	②9.1g	7.5g未滿	○
肥満者の割合(20～60歳代男性)	32.6%	②29.5%	25%以下	○	
低体重者の割合(20～30歳代女性)	18.4%	②23.1%	15%以下	△	
食品表示が適正な店舗	95.2%	②97.8%	100%	○	

次期 第3期計画素案の概要 (H29～H33)

資料1

施策の方向



施策の体系

I 富山の「食」に着目した食育の推進

- 食育県民運動の展開
 - ・食育推進運動の充実
 - ・食育推進体制の充実
- 地産地消の推進や生産者と消費者の交流
 - ・生産・供給体制の強化
 - ・県産品の活用・購買気運醸成
 - ・生産者等と消費者の交流促進
- 魅力ある食文化の継承・創造
 - ・富山の伝統的な食文化の伝承
 - ・新たな食文化の創造

目標指標案	②策定時	③目標値
「食育」に関心がある県民	91.2%	95%以上
カロリーやバランスを考えた食事をする県民	54.6%	60%以上
「富山型食生活」を実践している県民		
ご飯を1日に1回以上食べる	93.9%	100%
野菜を1日に350g(小鉢5皿程度)取る	26.7%	50%以上
魚介類を1日に1回以上取る	68.4%	80%以上
県産食材(野菜・いも類)産出額	②55億円	69億円以上
直売所・インショップ販売額	36.1億円	農政審で決定
「地産地消『とやまの旬』応援団」登録数	4,458	6,500以上
新農林漁業体験者数	58,877人	67,000人以上
新「とやま食の匠」派遣回数	40回	60回以上
「富山県ふるさと認証食品」数	313	350以上

II ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進

- 子どもに対する食育の推進
 - ・望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発
 - ・家庭で楽しい食生活の実践と支援
 - ・家庭・地域等と連携した食育の推進
 - ・豊かな農林水産資源を生かした食の体験、給食の推進
- 若者世代に対する食育の推進
 - ・健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進
 - ・健康寿命延伸に向けた食育の推進
 - ・豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進
- 働き盛り世代・高齢者に対する食育の推進
 - ・健康寿命延伸に向けた食育の推進
 - ・地域全体で食育に取り組む体制の充実

目標指標案	②策定時	③目標値	
朝食を欠食する割合	小5	0.8%	限りなくゼロに近づける
	中2	2.0%	限りなくゼロに近づける
	20歳代	11.4%	5%以下
	30歳代	3.8%	5%以下
新学校給食における県産食材の利用量	510t	700t以上	
家族で朝食または夕食を取る県民(成人)	91.8%	95%以上	
脂肪から摂取するエネルギー比率	20歳代	28.3%	20%以上
	30歳代	27.1%	30%未滿
食塩の1日当たり摂取量(成人)	男性	11.0g	8g未滿
	女性	9.1g	7g未滿
肥満者(20～60歳代男性)	29.5%	25%以下	
低体重者(20～30歳代女性)	23.1%	15%以下	

III 食の安全・安心や食の循環を意識した食育の推進

- 食の安全確保の推進
 - ・食に関する情報の理解促進
 - ・安全な農林水産物等の供給
- 食の循環や環境を意識した食育の推進
 - ・食品ロス等の発生を減らす食生活の推進
 - ・自然環境や食べ物を大切にすることの醸成

目標指標案	②策定時	③目標値
食品表示が適正な店舗	97.8%	100%
新食品ロス削減のための取り組みを行っている県民の割合	62.9%	80%以上